

# 「GSMaP および衛星シミュレータ合同研究集会」

名古屋大学地球水循環研究センター平成 25 年度共同研究集会プログラム

「衛星による高精度降水推定技術の開発とその水文学への利用の研究企画のための集会」

(提案者：気象研究所 青梨和正、名大側担当者：増永浩彦)

&

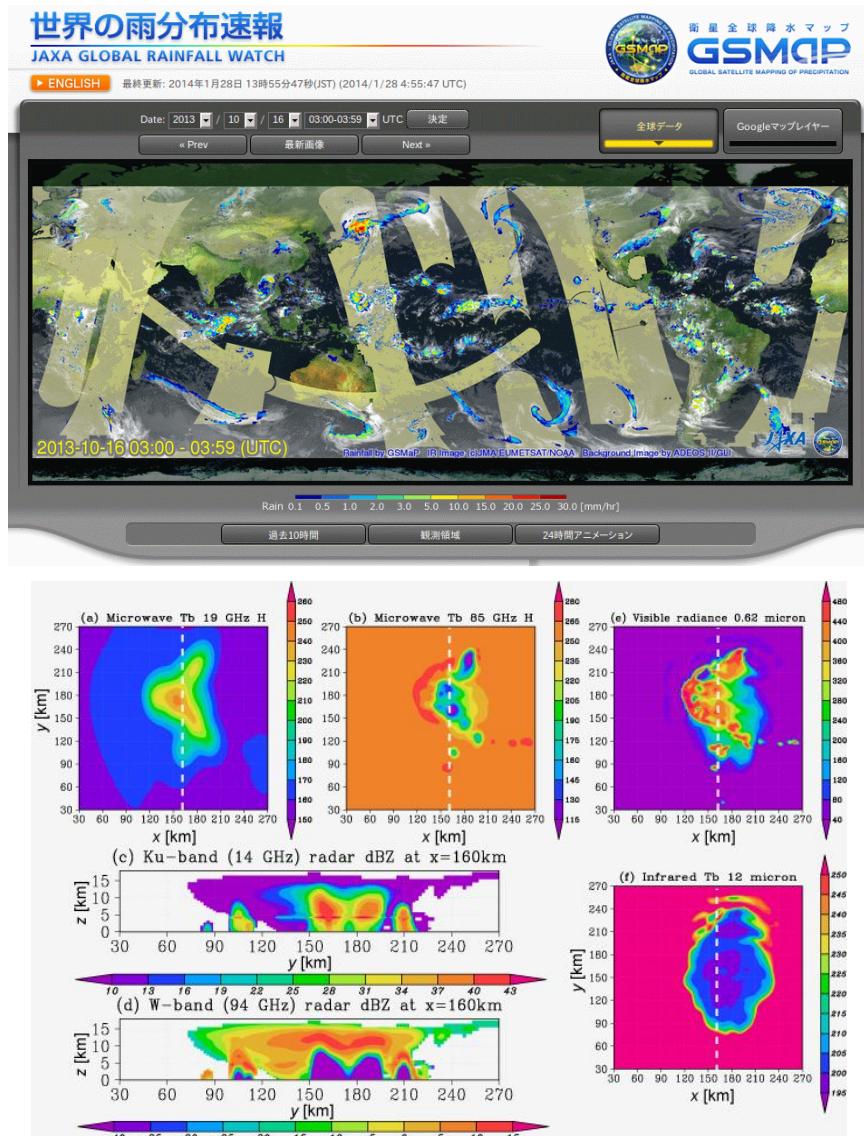
名古屋大学地球水循環研究センター平成 25 年度計画研究プログラム

「衛星データシミュレータを用いた数値モデル検証研究」

(課題代表：増永浩彦・篠田太郎)

日時： 2014 年 2 月 18 日（火）午後～19 日（水）

場所： 名古屋大学環境総合館レクチャーホール



## プログラム

2月18日(火) 13:30-17:30

13:30-13:40 はじめに 青梨和正(気象研)

13:40-14:00 「GSMaP at-launch 版の状況と初期評価結果(その2)」

可知美佐子・久保田拓志(JAXA/EORC)・荒井頼子・東上床智彦(RESTEC)

14:00-14:20 「雨量計補正 GSMaP における気象衛星の利用」

妻鹿友昭・牛尾知雄(大阪大)

14:20-14:40 「モンスーンアジアの複数流域における GSMaP\_MVK/Gauge の性能調査(予定)」

上米良秀行、他(土木研 ICHARM)

14:40-14:55 (休憩)

14:55-15:15 「静止気象衛星を用いた降雨域推定マップの作成と GSMaP」

広瀬民志・樋口篤志(千葉大)・妻鹿友昭・牛尾知雄(大阪大)・山本宗尚・重尚一(京都大)

15:15-15:35 「次世代マイクロ波放射計降水リトリーバルアルゴリズムの開発」

青梨和正・小山亮・石橋俊之・岡本幸三(気象研)

15:35-15:55 「最適な可降水量等の条件における EOF を用いて導出した陸面射出率」

古澤(秋元)・文江・増永浩彦(名古屋大 HyARC)

15:55-16:10 (休憩)

16:10-16:30 「TRMM PR によって観測されたアジアモンスーン域における背の低い地形性豪雨」

重尚一(京都大)・Christian Kummerow(コロラド州立大)

16:30-16:50 「客観解析データの高解像度化に伴う GSMaP 地形性降雨判定精度の検証」

山本宗尚・重尚一(京都大)

16:50-17:10 「環境場に基づく降水レジーム分類: 中緯度タイプ細分と日スケール分類」

濱田篤・高藪縁(東京大 AORI)

17:10-17:30 「2台のKa帯レーダによる降雨強度の推定」

辻航平(名古屋大環境学)・中村健治(獨協大)・古澤(秋元)・文江(名古屋大 HyARC)

・西川将典(北海道大)

18:00-20:00 懇親会

2月19日(水) 9:30-11:50

09:30-09:50 「衛星データを用いた熱帯低気圧の降水特性の研究」

豊島紘一(名古屋大環境学)・増永浩彦(名古屋大 HyARC)

09:50-10:10 「熱帯季節内振動に伴う海面水温変動の伝播特性について」

金丸佳矢(名古屋大環境学)・増永浩彦(名古屋大 HyARC)

10:10-10:25 (休憩)

10:25-10:45 「CMIP5 気候モデルによるユーラシア高緯度における夏季降水の再現性」

廣田渚郎・高藪縁(東京大 AORI)

10:45-11:05 「梅雨期の降水の現在気候における長期変動と将来変化に関する研究

—TRMM PR、JRA55、CMIP5 マルチ気候モデルデータを用いて—

横山千恵・高藪縁(東京大 AORI)・金田幸恵(名古屋大 HyARC)

11:05-11:35 総合討論 「今後の降水量トリーバルのありかたについて」

11:35-11:50 (写真撮影)

2月19日(水) 13:00-17:00

13:00-13:10 **はじめに** 増永浩彦(名古屋大 HyARC)

13:10-13:30 「衛星データと衛星シミュレータ SDSU により示された  
雲解像モデル CReSS における雲氷の数濃度に関する問題点」  
篠田太郎・増永浩彦(名古屋大 HyARC)

13:30-13:50 「Evaluations of NICAM using TRMM and satellite simulator」  
Woosub Roh・佐藤正樹(東京大 AORI)

13:50-14:10 「衛星観測データの雲微物理的解析」  
久芳奈遠美(東京大 AORI)・端野典平(中央研究院)・佐藤正樹(東京大 AORI)  
・鈴木健太郎(NASA/JPL)

14:10-14:30 「A-Train を用いた NICAM の雲放射効果の評価」  
端野典平(中央研究院)・佐藤正樹(東京大 AORI)・久保田拓志(JAXA/EORC)  
・那須野智江(JAMSTEC/RIGC)・荻原雄一朗・岡本創(九州大応力研)  
・松井俊久(NASA/GSFC)・関口美保(海洋大)

14:30-14:50 「衛星シミュレーターを用いた全球の雲有効半径の検証」  
清木達也(JAMSTEC)・端野典平(中央研究院)・中島孝・永尾隆(東海大)  
・佐藤正樹(東京大 AORI)

14:50-15:05 (休憩)

15:05-15:25 「超高解像モデルを用いて検証する CFODD の時系列」  
佐藤陽祐・西澤誠也・八代尚・宮本佳明・富田浩文(理研)  
15:25-15:45 「衛星データシミュレータを用いた  
可視赤外イメージ用雲微物理特性アルゴリズムの評価」  
永尾隆・中島孝(東海大)・端野典平(中央研究院)・佐藤正樹(東大 AORI)  
・鈴木健太郎(NASA/JPL)・佐藤陽祐(理研)

15:45-16:05 「次期ひまわり 8号・9号の概要及び、衛星シミュレーション画像の紹介」  
村田英彦・高橋昌也(気象庁気象衛星センター)

16:05-16:25 「衛星シミュレータを用いた積雲急発達プロダクト開発の取組み」  
隅田康彦・今井崇人・高橋昌也(気象庁気象衛星センター)

16:25-16:45 「複数の OSSE 手法による仮想観測システムの評価」  
石橋俊之(気象研)

16:45-17:00 **まとめ** 増永浩彦(名古屋大 HyARC)